

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 芳賀 哲夫	
環境-25 名越クリーンセンター管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 環境センター 関連課 環境施設課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	一般廃棄物の適正な処理のため
効果	生活環境の保全及び公衆衛生の安定が図られる

2 平成27年度に実施した事業の概要

名越クリーンセンターの光熱水費、維持修繕料等の管理運営に係る事務を行った。 市民、事業者から排出されるごみを適正に処理するための焼却施設、粗大ごみ処理施設の運転及び維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	273,534	358,236	当初予算(千円)	416,316			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他	66,323	97,563	その他	10,641			
	一般財源	207,211	260,673	一般財源	405,675			
	人員配置数	10.2	8.2	人員配置数	7.2			
事業経費運営	人件費(千円)	80,081	65,454	人件費(千円)	58,710			
	総事業費(千円)	353,615	423,690	総事業費(千円)	475,026			
	市民1人当りの経費(円)	1,993	2,390	市民1人当りの経費(円)	2,686			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	平成37年度までの安定的な焼却のため、必要な維持管理を行う必要があるため。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	ごみ処理は、廃掃法に義務付けられた市町村の業務であり、かつ、市民生活に欠かす事の出来ないものであることから、ごみの焼却に当たっては、周辺住民との間で締結した協定に基づき、年間焼却量上限値33,000トンを見据え、適正にこれを行っていく。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	今泉クリーンセンターからのごみの搬送計画を含めた搬入ごみ量(ごみピット)の適正管理	
課題解決のために行った平成27年度の取組	搬入ごみ量の適正管理は、名越・今泉両クリーンセンターのごみピット状況を把握し、今泉クリーンセンターからの自区内搬送量を調整することで対応を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	2基ある焼却炉のうち定期整備等で長期に1基稼働となることがあることや、老朽化した設備の突発的故障時の対応を含め、適正な自区内搬送計画や自区外搬送体制を関係課かいと調整しながら構築していく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方								
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	1炉1時間当たりの焼却量の確保					単位	kg/h	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
ごみを確実に処理していく必要があるため。	目標値	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0	2,500.0			
	実績値	2,535.9	2,483.9							
	達成率	101.4%	99.4%							

指標の内容	ごみ1トン当たりの処理にかかる電力使用量の削減					単位	kwh	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
基幹的設備改良工事の効果を確認していく必要があるため。	目標値	180.0	140.0	140.0	140.0	140.0	140.0			
	実績値	175.6	127.8							
	達成率	97.6%	91.3%							

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	電気使用量については平成24年度比(基幹的設備改良工事前)でおよそ2割削減した値で管理しています。指標の傾向としては横ばいになりますが、これを確保しつつ適正なごみ処理を行っていきます。									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---